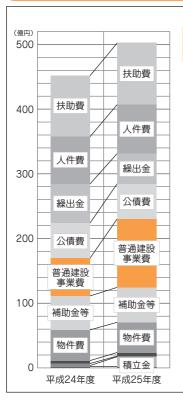


設算護器包認定へ

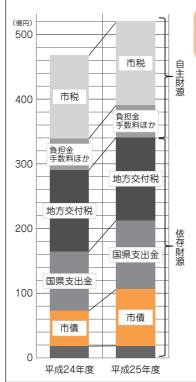
9月定例会で提案されていた平成25年度会計決算議案について、市の予算が適正に使われたかどうかに着目し、議会閉会中の10月に各担当の常任委員会で詳細な審査を行いました。各委員会での審査結果を受けて、12月定例会の初日に各会計決算議案を全て認定しました。ここでは決算の特徴を議会の視点からご紹介します。また各委員会での決算審査を通じて、今後の津山市の発展のため、議会から意見や要望をいたしました。

平成25年度一般会計歳入歳出決算額の推移と主な特徴は?



歲出決算額 503億円

- ・歳出決算額は前年度と 比べ約50億円の増加。
- ・決算額が増加した主な 理由は、国の緊急経済 対策を活用した学校教 育施設や道路・公整 備、また福祉施設整備 等の公共事業に積極的 に取り組み、普通建設 事業費が大幅に増えた ためです。
- ・扶助費は、高齢化率の 高まりに伴い、年々増 加傾向のまま推移して います。



歲入決算額 **521億円**

- ・歳入決算額は前年度 と比べ約52億円の増 加。
- ・決算額が増加した主 な理由は、事業に充 てる国県支出金や市 債が増額となったた めです。
- ・市税の収入額は前年 度と比べ8,507万円増。 収納率は94.2%。地 方交付税は前年度と 比べ2億1,408万円 増加。
- ・自主財源(津山市が 自主的に調達できる 財源)の割合は27.8%。

各会計決算の 収支状況は?

国民健康保険や介護保険などの特別会計では、保険給付費の増により年々決算額が 増加傾向にあります。また土地開発公社清算事業特別会計が新たに加わり、この会 計で第三セクター等改革推進債113億5,000万円の償還が今後30年続いていきます。

		歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		521億9,538万円	503億9,769万円	17億9,769万円
特別	国民健康保険	111億3,082万円	109億3,247万円	1億9,835万円
	介護保険	91億4,360万円	90億6,834万円	7,526万円
	後期高齢者医療	11億8,422万円	11億8,366万円	56万円
	公共用地取得事業	12億 916万円	12億 916万円	0円
	土地取得造成事業	3,538万円	0円	3,538万円
	土地開発公社清算事業	121億1,827万円	121億1,827万円	0円
会	食肉処理センター	1億 185万円	1億 185万円	0円
計	下水道事業	53億6,631万円	53億5,696万円	935万円
	農業集落排水事業	2億1,227万円	2億1,215万円	12万円
	簡易水道事業	2億4,203万円	2億4,203万円	0円
	奨学金	654万円	594万円	60万円
	磯野計記念奨学金	744万円	108万円	636万円
企業	水道事業(収益的収支)	28億9,239万円	27億9,600万円	9,639万円
会計	工業用水道事業(収益的収支)	2,804万円	2,090万円	714万円
財産区会計(6会計合計)		1,931万円	370万円	1,561万円